

日本鐵鋼協會記事

1. 昭和 24 年度第 11 回理事會 日時：24-8-3 (水) 10 時 30 分～19 時 30 分。場所：協會々議室。出席者：(會長) 山岡武(副會長) 志村清次郎(理事) 芥川武，繪野澤喜之助，菊地浩介，松永陽之助，横山均次。(前會長) 俵國一，三島徳七，(監事) 田中清治，(常務委員) 石田四郎，石原善雄，佐々川清，俵信次，毛利惣之。(主事) 金谷三松

報告事項。1. 昭和 24 年度第 5 回編集委員會 日時：24-7-20 (水) 16 時 30 分～19 時。場所：協會々議室。出席者：(理事) 菊地浩介君(編集委員) 伊木常世君，佐藤忠雄君，長谷川正義君，濱本甲子生君，吉田道一君，(主事) 金谷三松(報告)。(1) 昭和 24 年度 7 月號は 7 月 12 日竣成發送ズミ(双文社)(2) 同 8 月號は 8 月 15 日に竣成の豫定(博洋社)本號には秋季大會案内狀を刷り込む爲め實際發送は 8 月下旬となる見込み。(3) 日本工業技術總覽用抄録(鐵と鋼 24 年 6 月號論說抄録—兒子君擔當) 途付すみ。(4) 第 37 回講演大會講演者(技術論文) して原稿寄投方勸誘狀發送すみ。

(協議)(1) 昭和 24 年 11 月第原稿選定の件 (2) 日本工業技術總覽用抄録(鐵と鋼 7 月號) 擔當者指名の件 決定 濱本甲子生君に依頼のこと。(3) ヘース氏講演の抄録を會誌に掲載の件決定。11 月號に掲載のこと。(4) 維持會員へ奉仕の一端として年一回位負擔口數に應じ大きを異にする等の方法にて會誌に營業廣告を無料掲載の件決定。その營業種目，資本金，重役氏名等掲載事頭を立案の上準備のこと尙ほ本件は理事會の承認を受くるを要す(註。24-8-3 理事會にて承認)。(5) 去る 5 月より募集中の鐵鋼要覽第 3 版發行につき豫約注文を募集中のところ本日迄に應募者僅に 55 名に過ぎず。依つて今回は出版見合せのこととする。

協議事項。1. 今秋第 38 回講演大會實施に關し實行委員長に於て準備の狀況の件承認 全部原案通り。内役員氏名次の通り。一實行委員長 角野尙徳君 實行委員 今井弘君(九大工) 谷村熙君(九大工) 嘉村平八君(九大工) 大慈彌嘉久君(福岡通産局) 湯本武君(小倉工機) 安永渡平君(八幡) 須永己代治君(八幡技師長) 小平勇君(八幡技術)

遠藤勝太郎君(八幡技研) 和田龜吉君(八幡製鐵) 蜂谷茂雄君(八幡製鋼) 北村外喜男君(八幡鋼材) 中村爲嗣君(小倉製鋼) 八田篤敬君(不二越歴延) 青木好磨君(東京製網) 西村清三郎君(東海鋼業) 宮下格之助君(日立若松) 本田深治君(日本鋼業) 松本兼二郎君(黒崎室業)

幹事 三ヶ島秀雄君(九大工) 武田喜三君(八幡作業) 中尾常世君(八幡技研) 間端夫君(八幡技研)

(2) 會費値上げの件—決定 原案として，入會金 正會員 80圓/50圓 學生會員 30圓/30圓 會費年正會員 500圓/300圓 學生 200圓/120圓 終身會員一時 3,000 圓以上を 5,000圓以上とす。以上の外値上げせず。(3) 鐵鋼技術史部發行の件—決定。1 冊 600圓 程度とし，日本鐵鋼連盟にて發行すること。(4) 昭和 24 年度 7 月分收支決算審議の件—承認 (5) 入退會者其の他會員異動の件—承認。(6) 熱處理作業標準調査に要する豫算表作製の件 決定委員長石原善雄君に依頼のこと。(7) 學術會議員候補者の資格に關する件—尙ほ研究のこと。

會告

1. 鐵鋼要覽第 3 版起版につき要望者の數を承知いたしたく，5 月以來募集して來ましたか本日迄の要望の方は僅に 55 名に過ぎませんので再發行は今暫時見合せのことゝいたします。以上悪しからず御諒承下さい